

舗装工事の生産性向上を図ります！

～「ICT路盤工」試行工事のWeb現場見学会開催のご案内～

北海道開発局では、インフラDX・i-Constructionの更なる推進のため、北海道内の建設業、自治体職員等を対象とする「ICT路盤工」試行工事のWeb現場見学会を、下記のとおり開催いたします。

ICT路盤工（加速度応答値による密度管理）について

- ・ 締固め密度を面的に把握できるので品質の向上が期待できる。
- ・ 現場密度試験（砂置換法）が省略でき試験・分析作業の効率化が期待できる。
- ・ 令和3年度に全国で10工事程度（うち北海道内は3工事）の試行工事を行い、品質管理要領を取りまとめ、令和4年度から本格導入の予定。

記

1 日 時 令和3年9月21日（火） 11:00～12:00

※悪天候時は中止とします。中止の場合は当日9:30までにメールでお知らせします。

2 開催方法 Webによるオンライン方式

3 対象工事 一般国道230号札幌市白糸舗装工事（札幌開発建設部 札幌道路事務所）

4 施工場所 札幌市南区定山溪温泉東2丁目86-1

5 取 材 取材を希望される報道関係者の方は、9月17日（金）17時までに、会社名・氏名・連絡先を下記アドレス宛てに登録をお願いいたします。

取材に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒有や手洗いにご協力をお願いします。

【登録先】 hkd-ky-icon_supp@gxb.mlit.go.jp

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局

事業振興部 機械課

電話（代表）011-709-2311

建設情報・施工高度化推進官 栗田 五輪人（内線 5394）

機械施工第2係長 佐藤 裕樹（内線 5639）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



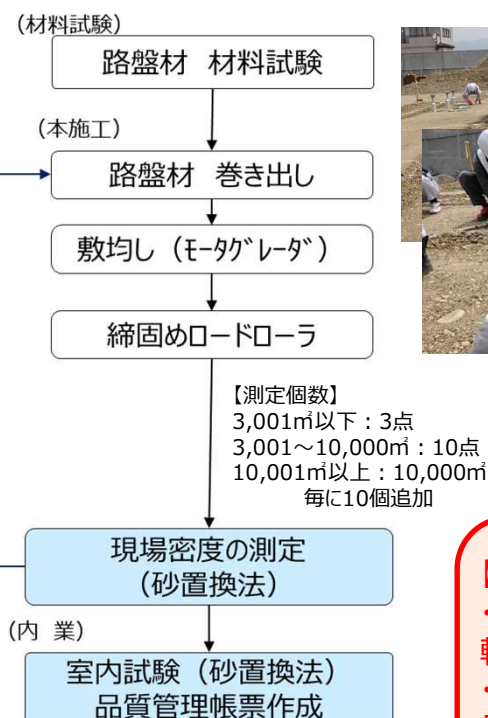
ICT路盤工(加速度応答値による密度管理)について

【ICT路盤工(加速度応答値による密度管理)導入によって期待される効果】

- ・締固め密度が面的に把握できるので品質が向上する。
- ・現場密度試験(砂置換法)が省略できるので試験・分析作業を効率化できる。

令和3年度に全国で10工事程度(うち北海道内は3工事)の試行工事を実施し、密度計測精度の確認を行います。また、各種要領を取りまとめて令和4年度からの本格導入を目指します。

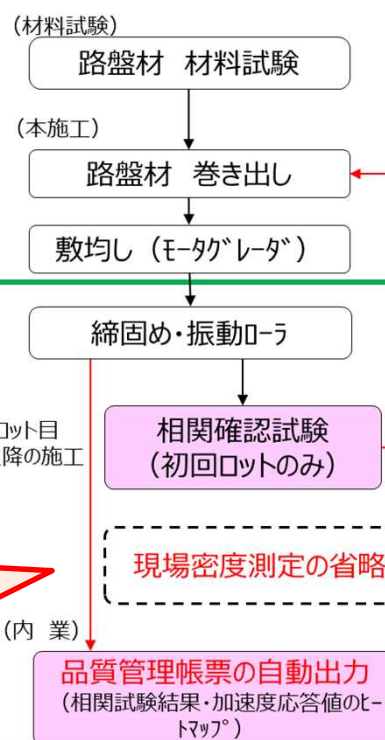
従来施工の流れ



【メリット】

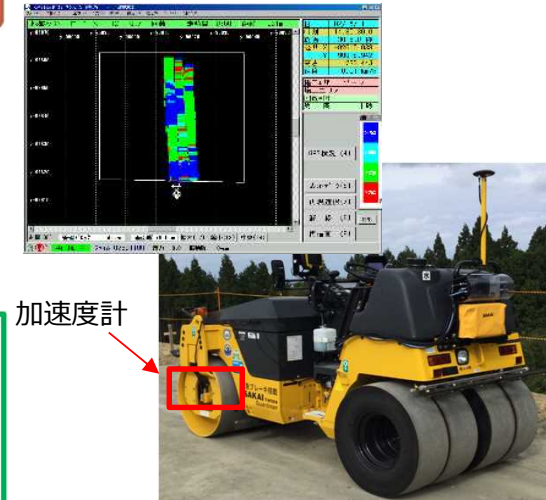
- ・品質管理の労力軽減
- ・全数管理化による品質担保の確実性向上

ICT路盤工の流れ

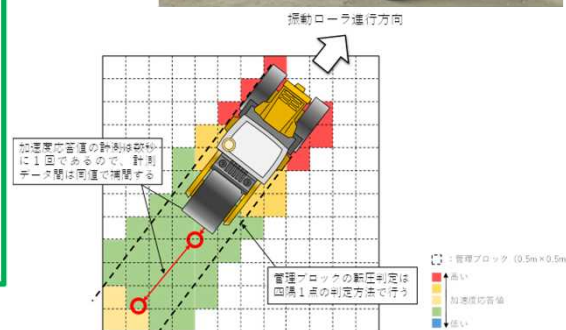


Web見学範囲

加速度応答値のリアルタイム表示



加速度計



加速度応答値による密度管理(面管理)

